「思考力・判断力・表現力」向上を図る授業づくりを目指す 姶良・伊佐スキルアップセミナー開催！　平成 28 年 1 月 20 日

姶良・伊佐教育事務所では，管内小・中学校教員の授業力向上を図るため，平成 25 年度より，「姶良・伊佐スキルアップセミナー」を開催しています。今年度は，このセミナーを，本地区でこれまで取り組んできた「姶良・伊佐コアティーチャーネットワークプロジェクト」の研究発表会として位置付け，実施しました。

平成 28 年 1 月 20 日，姶良市姶良公民館で開催したこのセミナーには，小学校から 70 人，中学校から 65 人，計 135 人の出席のもと，授業力向上に懸ける熱い研究会となりました。

姶良・伊佐コアティーチャーネットワークプロジェクトとは？

「姶良・伊佐コアティーチャーネットワークプロジェクト」とは，管内小・中学校教員（小学校推進員 19 人，中学校推進員 20 人，各教科等顧問 10 人，計 49 人）によるプロジェクトチームです。このプロジェクトでは，子どもたちの「思考力・判断力・表現力向上を目指す授業づくり」に重点を置いた実践を行ってまいりました。

本プロジェクトの主な事業内容とその研究成果の還元については，以下の通りです。

主な事業内容

☆プロジェクト研究推進員の委嘱及びプロジェクト研究会の開催（年４回）

☆思考力・判断力・表現力等を問う単元・領域別の評価問題の作成

☆作成した評価問題に関連した具体的なモデル授業の構築

研究成果の還元

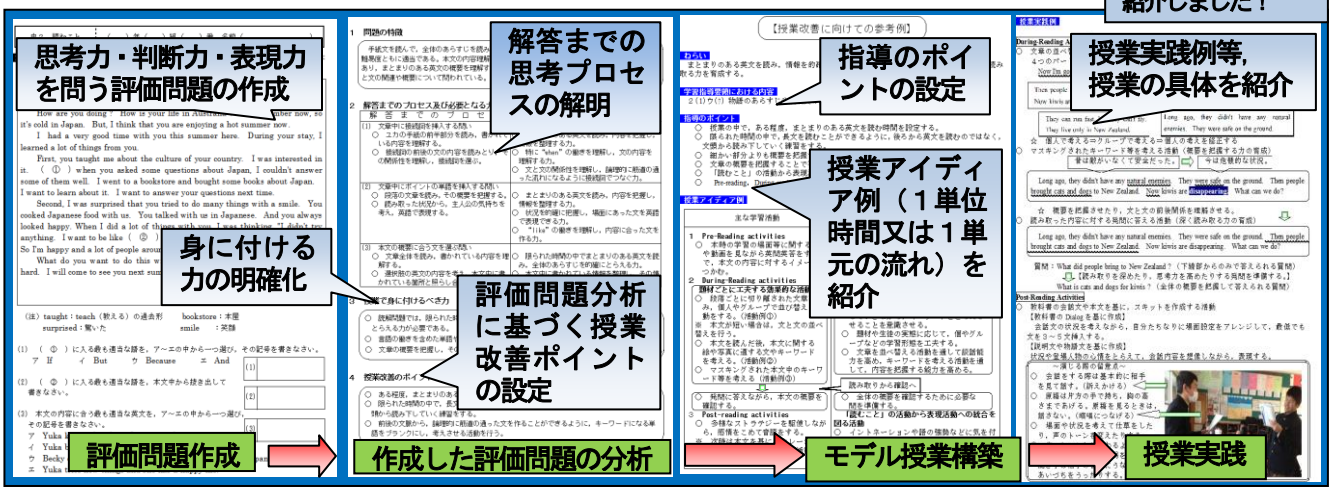
☆授業力向上研究会「姶良・伊佐スキルアップセミナー」の開催による研究成果の発表

☆「かごしま学力向上支援 Web システム」による単元・領域別評価問題の配信

☆地区教育実践事例集「緑の教育」の刊行によるモデル授業に係る資料等の提供

全教科の実践例を，「姶良・伊佐スキルアップセミナー」で紹介しました！

評価問題研究を授業改善に生かす取組を全教科で実践。（以下は中学校外国語の実践の一例）



姶良・伊佐コアティーチャーネットワークプロジェクトの歩み

姶良・伊佐コアティーチャーネットワークプロジェクト 研究・実践の流れ

第1回プロジェクト研究会　H27.6.24
- ○ 事業説明
- ○ 教科等別分科会
  - 評価問題に関する研究協議
  - 授業改善のポイントの整理
  - モデル授業構築に関する研究協議
  - 評価問題作成及びモデル授業に関する分担

評価問題作成（各教科）
指導案等作成（外国語活動）

第2回プロジェクト研究会　H27.8.7
- ○ 教科等別分科会
  - 評価問題に関する研究協議
    ⇒ 評価問題の検討・改善
  - モデル授業構築に関する研究協議
- ○ 全国教育課程説明会の内容伝達

第3回プロジェクト研究会　H27.11.25
- ○ 教科等別分科会
  - 評価問題に関する研究協議
    ⇒ 評価問題の検討・改善⇒完成
  - モデル授業構築に関する研究協議
    ⇒ モデル授業の内容検討・改善
  - 授業力向上研究会の準備・分担

モデル授業に係る資料等作成

第4回プロジェクト研究会　H27.12.17
- ○ 教科等別分科会
  - 授業力向上研究会の準備
  - リハーサル

研究発表・模擬授業に係る資料等準備

授業力向上研究会　H28 .1.20
「姶良・伊佐スキルアップセミナーPart3」

姶良・伊佐スキルアップセミナー各教科等別研究会
～姶良・伊佐コアティーチャーネットワークプロジェクトの研究成果がここに！～

「姶良・伊佐スキルアップセミナー」では，小学校国語，小学校社会，小学校算数，小学校理科，小学校外国語活動，中学校国語，中学校社会，中学校数学，中学校理科，中学校外国語の計 10 会場において，各教科等別研究会を開催しました。

各教科の研究会においては，研究推進員による研究発表（作成した評価問題とその分析に基づくモデル授業）と参加者相互の研究協議を行いました。研究発表では，どの教科においても，マイクロティーチング型の模擬授業を取り入れるなど，工夫を凝らしたプレゼンテーションに取り組み，参加者からの高い評価が得られました。研究協議では，ワークショップ型で，参加者全員が，積極的に意見を交換し合いながら，熱のこもった活発な協議が行われました。外国語活動の研究会においては，単元の流れを１単位時間ごとの模擬授業で実演し，発表者・参加者が一体となり，和気あいあいとした雰囲気の中で，楽しく，充実した研究会になりました。

当日の研究会における発表，それまでの諸準備，当日の受付業務や，各研究会の運営等，本セミナーに係る全てを，各教科等の研究推進員及び顧問が，チームワークを発揮して，精力的に取り組んでくださいました。当日は，短い時間ではありましたが，事前の準備及びリハーサルも行いました。どの教科等においても，これまで，取り組んできた研究成果を発揮し，参加された先生方にしっかりと還元できるよう，真剣にリハーサルに臨む推進員の姿が印象的でした。

リハーサルの様子

推進員による受付の様子

各教科等別研究会の主な内容は以下のとおりです。全ての研究会で熱い研究発表・研究協議が行われました！

小学校国語科研究会

評価問題の単元・領域等「書くこと（推敲・交流）」

モデル授業

1「パンフレットを目的や意図に応じてよりよく推敲する力をつける授業例」

2「表現の効果に着目して意見文を推敲し，自分の意見を明確に伝える力をつける授業例」

3「鑑賞文の書き方について交流しながら，モデル文をよりよく推敲する力をつける授業例」

4「友達からの助言を基に推敲し，経緯と感想・意見などを区別して随筆文を書く力をつける授業例」

プロジェクト研究推進員

1 西郷　喜子　教諭（湧水町立栗野小学校）

2 髙橋　美香　教諭（姶良市立柁城小学校）

3 亀崎　智明　教諭（霧島市立日当山小学校）

4 肥後　尚美　教諭（伊佐市立羽月小学校）

顧問：中津　朋広　教頭（姶良市立錦江小学校）

参加者の感想から

○　１時間の授業展開のポイントや，必要な学力が明確に示されていて，とても参考になりました。

○　推敲は教師がするものとばかり考えていました。子どもたちが交流しながら推敲し合うことで表現力が高まることを学びました。

○　評価問題を実際に作成し，授業に生かしていくことは，身に付けたい学力を明確にするために有効であると感じました。

○　意欲付けとしてゴール意識を持たせることの大切さや，子どもの困り感，何に気付かせ，どのレベルまで子どものの力を引き上げるかなど，授業を構築する上で考えるべき視点に気付くことができました。

小学校社会科研究会

評価問題の単元・領域等
「これからの食料生産」「水産業のさかんな地域」

モデル授業

1 「資料を関連付けて，発言の根拠を説明する力を育成する授業例」

2 「既習事項を基に，資料を活用しながら自分の考えを表現する力を育成する授業例」

3 「既習事項を活用し，資料を根拠に考える力を育成する授業例」

4 「資料を読み取り，関連付ける力を育成する授業例」

プロジェクト研究推進員

1 鮫島　純二　教諭
（霧島市立青葉小学校）

2 赤塚　健志　教諭
（姶良市立姶良小学校）

3 下伊倉　大輔　教諭
（伊佐市立大口小学校）

4 泉　宗弘　教諭
（霧島市立国分小学校）

顧問：小出水　明洋　教頭
（姶良市立西姶良小学校）

参加者の感想から

○　社会科の授業は難しいと感じていましたが，様々な工夫によって，苦手な子にとっても楽しいものになることが分かりました。

○　社会科は特に資料提示が大事だということを再認識しました。資料を見て，子どもたちが感じたこと，疑問に思ったことをスタートとして授業が流れると子どもたちの確かな学力に結びつくと思いました。

○　評価問題を実際に作成することによって，見えてくることがあることを知りました。ぜひ，少しずつ実践していきたいと思います。

○　評価問題を子どもたちが繰り返し解く中で，思考力が上がるので，ぜひ取り組みたいと思います。そうすることで，文章力も身に付き，自分の考えを表現することの楽しさを感じられるようになると感じました。

小学校算数科研究会

評価問題の単元・領域等
「曲線のある形の面積」「速さ」

モデル授業

1 「式と図を関連させたり，解釈したりする授業例」

2 「複合図形の求め方を考え，説明する授業例」

3 「筋道を立てて考え，説明する授業例」

4 「筋道を立てて考え，説明する授業例」

プロジェクト研究推進員

1 柏木　康良　教諭
（霧島市立国分小学校）

2 浦村　正幸　教頭
（鹿児島市立西紫原小学校）
旧推進員：姶良市立重富小学校教諭

3 下井田　智彦　教諭
（伊佐市立大口小学校）

4 池之上　敬一　教諭
（姶良市立姶良小学校）

顧問：本山　智彦　教頭
（霧島市立国分西小学校）

参加者の感想から

○　評価問題作成の作成に当たり，どのような観点で作成するかを説明していただき，児童の思考力を育てるために，どのような観点が必要なのかが分かりました。

○　筋道立てて考えたり，振り返って考えたりするために，自分の考えを様々な手段方法を活用して説明させることの大切さを学びました。

○　これまで，下位の子どもへの手立てのみを考えていましたが，中位層の子どもたちの引き上げで上位の子どもが増え，教え合いの場の設定により，子ども同士の学力の引き上げができると感じました。

○　学校全体で系統的な図の活用などを共通理解しておくことが，学校全体の学力向上につながることを改めて実感しました。

小学校理科研究会

評価問題の単元・領域等
「種子の発芽と養分」「発芽の条件」「植物の成長」「花粉のはたらき」
モデル授業
1 「子葉の変化から発芽について考察する力をつける授業例」
2 「種子の発芽について，条件制御しながら調べる力を培う授業例」
3 「植物の成長について比較し，成長条件について考える授業例」
4 「結実の条件について実験の方法を考え，実践する授業例」

プロジェクト研究推進員
1 平山　晃　教諭
（霧島市立国分小学校）
2 狩行　紀一　教諭
（霧島市立国分北小学校）
3 先間　裕哉　教諭
（姶良市立建昌小学校）
4 鈴木　慎一郎　教諭
（姶良市立松原なぎさ小学校）
顧問：山村　光　教頭
（姶良市立西浦小学校）

参加者の感想から

○　「植物」の授業の進め方について，丁寧に説明していただき，ありがたかったです。特に，事前実験の大切さや条件制御の在り方については事前の準備をしっかりして取り組むことを大切にしたいです。
○　思考・表現を意識した評価問題づくり，授業づくりについて研究協議の中で多くの意見が聞けて，今後の指導に生かせると感じました。
○　学習過程の中で，「予想」の段階から「まとめ」まで，子どもたちが意見交流を行い，考えを練り上げる活動が，「知識・理解」を深め「思考力」を高めるということを学びました。
○　授業改善には絶えず取り組んでいく必要があり，今後もこのようなセミナーがあると，ありがたいと思います。

小学校外国語活動研究会

総括
「英語表現のシャワーを十分に浴びせ，発話・対話の機会を確保し，伝えたい意欲を育てる授業」
モデル授業
1 Hi, friends!1 “What would you like?” 1st Period
2 Hi, friends!1 “What would you like?” 2nd Period
3 Hi, friends!1 “What would you like?” 3rd Period
4 Hi, friends!1 “What would you like?” 4th Period

プロジェクト研究推進員
1 米澤　栄晃　教諭
（霧島市立国分西小学校）
2 金﨑　英俊　教諭
（姶良市立加治木小学校）
3 竹林　広実　教諭
（伊佐市立山野小学校）
4 星山　由美子　教諭
（霧島市立国分小学校）
顧問：川畑　めぐみ　教頭
（伊佐市立曽木小学校）

参加者の感想から

○　実際のテキストをもとに模擬授業が行われ，アクティビティもたくさん紹介していただき，すぐに使えそうなものばかりでした。
○　４名の先生方が，とても生き生きと授業をされていて，私も自分自身の英語を楽しみ，その楽しさを子どもに伝えたいと思いました。
○　単元の指導計画に沿って，各時間のポイントをおさえた授業形式であったので，流れが分かり，参考にしたいと思いました。
○　授業のつくり方，１単元，１単位時間の構成の仕方について分かりやすく提示していただき，ありがたかったです。授業の流れをしっかりとつくることは，教師にとっても子どもにとっても大事なことであると感じました。

中学校国語科研究会

評価問題の単元・領域等：「書くこと（推敲・交流）」

モデル授業

1 「読みやすく，伝わりやすい文章を書く力を育成する授業例」

2 「批評文をジグソー法を用いて協働的に推敲する授業例」

3 「相手の状況や自分の思いにふさわしい手紙を書く力を育成する授業例」

4 「下書きカードと下書きの文章を対比させながら，文章全体を整理する力を育成する授業例」

プロジェクト研究推進員

1 地德　友美　教諭
（霧島市立国分南中学校）

2 松元　智宏　教諭
（伊佐市立大口中央中学校）

3 栗脇　尚志　教諭
（姶良市立加治木中学校）

4 福重　智子　教諭
（湧水町立吉松中学校）

顧問：福元　耕二　教頭
（霧島市立国分中学校）

参加者の感想から

○　熱心な先生方の実践を，実際に使える形で提供していただき，とてもありがたかったです。そして，協議を通して，自分の学校での実践の仕方についてイメージがもてました。

○　ジグソー学習の「エキスパート資料」がとても参考になりました。ジグソーを通して定着を図る術が見えた気がします。

○　実際に生徒の立場で授業を受けることで，新たな発見があり，同じ教科の他の学校の先生方と交流することで，よい刺激を受け，たいへん有意義な時間となりました。

○　今日のセミナーで，生徒に目的意識をもたせ，成長を感じさせるにはどうすればよいかについて考えることができました。

中学校社会科研究会

評価問題の単元・領域等

「地理：中国・四国地方，近畿地方」

「歴史：産業・交通の発達，文化の広がり～化政文化，寛政の改革」

モデル授業

1 「地図や資料を活用し，知識・理解・技能・思考・判断・表現の総合的な力を育成する授業例」

2 「地図や資料を活用し，基礎的・基本的な内容を確認しながら，思考力・判断力・表現力を育成する授業例」

3 「地図の読み取りや資料等を多面的に活用することで，総合的に思考し判断したことを表現する力を育成する授業例」

4 「資料を活用し，代表作品の基本的事項を確認するとともに，時代背景を理解し，読み取る力を育成する授業例」

プロジェクト研究推進員

1 山口　巧　教諭
（霧島市立国分中学校）

2 疋田　雄輔　教諭
（姶良市立蒲生中学校）

3 上脇田　昭博　教諭
（霧島市立牧園中学校）

4 畠野　翔　教諭
（姶良市立重富中学校）

顧問：飯山　哲志　教頭
（湧水町立吉松中学校）

参加者の感想から

○　近年の高校入試問題でも増えてきている記述問題への対応を含めた思考・判断・表現力をどのように育むか，多くの事例を通して学ぶことができました。

○　評価問題作成において，どの観点の問題なのか自分自身迷うことが多かったのですが，意見交換等を通して，参考になりました。

○　授業で，文章を書く力をどう付けるのかという点で，今回の研究発表からいくつかのヒントを得ることができました。

○　今回の単元は，自分にとって苦手な単元が多く，評価問題づくりから授業の組み立てまで，非常にありがたい内容でした。

中学校数学科研究会

評価問題の単元・領域等
「展開・因数分解」「平方根」

モデル授業

1 「カレンダーの規則性に気付き，規則性を証明する授業例」

2 「数の規則性から，数理のよさを実感させる授業例」

3 「平方根の考えがコピー機に用いられていることを知り，身近なことを数学的に考察する授業例」

4 「円の性質を利用して，平方根を考えさせる授業例」

プロジェクト研究推進員

1 末永　瑞樹　教諭
（霧島市立陵南中学校）

2 實田　逸郎　教諭
（姶良市立山田中学校）

3 幡生　滋　教諭
（姶良市立加治木中学校）

4 井手上　隼人　教諭
（姶良市立帖佐中学校）

顧問：立和田　俊郎　教頭
（霧島市立牧之原中学校）

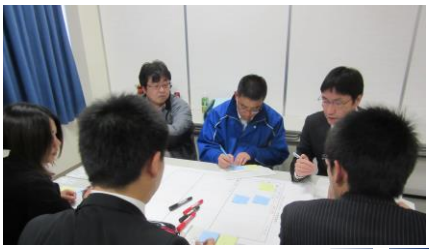
参加者の感想から

○　授業を工夫することの重要性を感じました。授業づくりにどれだけ自分が時間をかけているか考えさせられました。

○　生徒に「思考・判断」力を付けさせる授業は難しいですが，今回のモデル授業は参考になり，自分の授業にも取り入れたいと思いました。

○　学習問題のアイディアがすばらしいと思いました。授業形式で発表していただき，生徒の立場から見えてくる面もいくつかありました。

○　今回の発表，資料を通して，４人の先生方の発想力に驚きました。問題作成においては，様々な資料を参考にされたと思います。自分なりの発想を加えた問題を作成したり，生徒の実態に応じた授業展開を工夫したいと思いました。



中学校理科研究会

評価問題の単元・領域等
「酸化銀の分解と質量比」「化学変化と保存」「銅の酸化と質量比」

モデル授業

1 「酸素原子と銅原子の質量比を求めさせる授業例」

2 「炭素の燃焼をモデルで考えさせる授業例」

3 「グラフ作成を通して，銅と化合する酸素の質量比を求めさせる授業例」

4 「話合い活動を通して，反応する物質どうしの質量と体積の関係を見出させる授業例」

プロジェクト研究推進員

1 山口　光太郎　教諭
（霧島市立舞鶴中学校）

2 湯田　くみ子　教諭
（湧水町立栗野中学校）

3 永吉　信二郎　教諭
（伊佐市立大口中央中学校）

4 加藤　覚　教諭
（姶良市立重富中校）

顧問：平國　弘明　教頭
（霧島市立舞鶴中学校）

参加者の感想から

○　モデル化，比を使った計算，グラフの書かせ方，読み取り方等について，どのような指導をすればよいか，様々な先生方から御意見をいただき，とても参考になりました。

○　化学実験を取り扱った授業の提案でしたが，多くのヒントや，アイディアを得ることができました。

○　化学分野は数学的思考力を伴うので苦手な生徒が多いのが現状ですが，原子のモデル化にマグネットやシールを使うなど，目に見えない事象をイメージしやすくしていた点は効果的だと思いました。

○　本日のセミナーで，「生徒の実態を正確に捉え，授業を構築することが授業力向上の鍵である」そういう基本的な姿勢にもう一度気付くけたことは，とてもよかったと思います。

中学校外国語科研究会

評価問題の単元・領域等：「読むこと」「書くこと」

モデル授業

1 「まとまりのある英文を読み，情報を整理しながら，書き手の意向を正しく読み取る力を育成する授業例」

2 「まとまりのある英文を読み，文と文，段落と段落の関係を理解し，概要を把握する力を育成する授業例」

3 「まとまりのある英文を読み，必要な情報を正確に読み取り，情報を分かりやすく英語で伝える力を育成する授業例」

4 「年間を通して学習してきた事項を活用し，総合的な表現力の向上を図る授業例」

プロジェクト研究推進員

1 福永　準　教諭
（霧島市立隼人中学校）

2 有村　忠志　教諭
（霧島市立国分中学校）

3 西郷　紀子　教諭
（霧島市立日当山中学校）

4 水迫　範久　教諭
（姶良市立加治木中学校）

顧問：上栗　博文　教頭
（霧島市立福山中学校）

参加者の感想から

○　「読むこと」「書くこと」という普段の研究授業ではなかなか見られない授業の実践を発表していただき参考になりました。

○　授業構築の際に，評価問題を意識することで様々な活動が展開できることが分かりました。また，発問の工夫の大切さについても学びました。評価問題をつくるには，英語の本質が理解できないといけないと日々感じていたので，今後も研究を重ねていきたいと思いました。

○　「読むこと」においては，理解にとどまらず表現につながる工夫を，「書くこと」においては，音声からのインプット，表現を繰り返すことによる定着等，各技能の関連を重視することの大切さを学びました。

○　生徒の意欲を高めながら力をつける様々な指導法を紹介していただき，とても参考になりました。

姶良・伊佐コアティーチャーネットワークプロジェクト
研究推進員及び顧問の先生方の感想から

評価問題からスタートする研究は初めてでしたが，授業改善につながったと思います。

自分の授業を振り返るよい機会となり，推進員相互に学ぶことで，授業力向上に生かすことができました。

推進員同士のつながりが深まり，ネットワークができたので，今後も様々な場面で生かしたいと思います。

このプロジェクトで，推進員の先生方と研究を深めながら，何よりも子どもたちが変わったことが一番の収穫でした。